

地震・津波防災訓練について

～ 国や地方公共団体における取組 ～

内閣府からの呼びかけに応じて、10月から11月にかけて、8省庁、20都道府県、212市町村において、「津波防災の日」の趣旨を踏まえた地震・津波防災訓練を実施。

(事例1)

- 実施主体：内閣府、多賀城市
- 実施日：11月9日
- 想定：宮城県沖地震
(マグニチュード9.0)
- 参加人数：約10,000人

<訓練内容>

地域住民参加のもと、シェイクアウト訓練、津波避難・誘導訓練、避難所開設訓練、緊急物資輸送訓練、炊き出し訓練等を実施。



津波避難の様子(※イメージ)

地震・津波避難訓練

平成26年度

訓練時「緊急速報メール」を配信します
※携帯電話の設定により、マナーモード設定時でも、音が鳴る場合があります。



いつ、来るかわからない災害に備えて

11月5日(水) 「津波防災の日」

10:30開始

※一部の市町村・参加団体では開催時間が異なります。

主催：沖縄県、県内全市町村
お問い合わせ：沖縄県知事公室防災危機管理課または、各市町村防災担当窓口
連絡先：(県) 098-966-2143

(事例2)

実施主体：沖縄県、県内全41市町村

- 実施日：11月5日(津波防災の日)
- 想定：大規模地震(※震源域は特定しない)
- 参加人数：約150,000人

<訓練内容>

大規模地震・津波の発生を想定し、県民等の避難行動に特化した、県下全域を対象とする実践的な訓練(避難広報、避難行動、避難誘導、避難完了報告訓練等)を実施。

地震・津波防災訓練について

～ 民間企業等における取組 ～

民間企業等68団体において、10月から11月にかけて、「津波防災の日」の趣旨に沿った津波避難訓練を実施。

(事例3)

- 実施主体: JR北海道(株)
- 実施日: 10月8日
- 想定: 北海道南東沖地震
- 参加人数: 約90人

<訓練内容>

大津波警報発表後、避難指示が発令されたことを想定し、走行中の訓練車両を直ちに非常停止させ、乗客を避難はしごで降車させる。その後、音別地区の避難場所まで避難誘導。



(事例4)

- 実施主体: UR都市機構
- 実施日: 11月5日(津波防災の日)
- 参加人数: 約30人

<訓練内容>

津波発生時の浸水が予想されている横浜市中区のUR賃貸住宅において、津波の襲来を想定した徒歩による団地内避難訓練を実施。その際、避難時間や避難経路、問題点を確認。

